

大教SC通信

6人が繋いだ「襷」



42分の奇跡!

スポーツマンは、自分がやると決めたとき表情が一変する。先日27日狭山池で行われたクロスカントリーに6人のスポーツマンを見た。彼らの普段の表情や行動は元気で笑顔が絶えない小学生。しかし、襷を持ちスタート地点に立つその表情に笑顔はない。あるのは、前に走るライバル、いやあるいはもつと先の何かを見つめる強いまなざしか。走り出した顔に迷いはなく、ただ走ることを1歩1歩楽しんでるようにさえ見えた。彼らが所属している大阪教育大学スポーツクラブ、通称大教SCの鷹取先生によると、「彼らは長距離をほとんど練習していない。それにも関わらず、あれだけ走れたことは素晴らしい。合格をあげたいが悔しいので、まあ合格ぐらいで！とトヤ顔を炸裂。嬉しさをかみ締めていた。

また、今回アップシューズを忘れてたにも関わらず、彼らのアップを最初から最後まで付き添い、選手へのフォローをし、汗だくになっていた井阪先生も高く評価できる。資料によると、井阪先生は長距離のアップの方法はほとんど知らず、選手と思考錯誤しながら行ったようだ。アップ内容は試合結果から分かるように完璧。選手は実力を最大限に発揮することができた。

最後に、大教SC専属カメラマン 覚前先生はカメラを持った日からその頭角を現し始め、今大会の写真は申し分ないできとなっている。先日有給休暇で行ったハワイ旅行でリラックスできたことも関係がありそうだ。次ページにある写真を是非堪能してほしい。(山本)

結果

1走	竹割選手	6分59秒
2走	高橋選手	7分01秒
3走	吉田選手	8分03秒
4走	林田選手	7分00秒
5走	馬門選手	6分50秒
6走	吉村選手	6分49秒
総合		42分42秒

感謝の心も忘れずに

試合でその実力を存分に発揮した選手達が試合後、関係者に深くお辞儀し感謝の心を伝えるという素晴らしい行動が見られた。実に感動的なシーンである。



写真＝選手一同「ありがとうございました。」





2011.11.27 狭山池クロスカントリー



写真＝竹割選手

本大会の始め、竹割選手が持ち前の業務用笑顔を振りまいていたという目撃情報が入った。情報によると、竹割選手の笑顔に奥様方はメロメロのようで、試合前にファン急増が心配されたが、無事試合に出場できた。
*業務用笑顔!! 全ての人に通用する、どこかつくられた笑顔

竹割選手業務用
笑顔をふりまく



写真＝僕たち仲良しです！



写真＝リサイクルかいろう

気温がぐんぐんと低くなってきた近頃。本大会も冷え込みが心配され、倉庫を整理中ってきた「リサイクルかいろう」を鷹取先生が大量に持参した。それを奥様方に配ったところ大好評。我先にと手を伸ばしていた。中には、1人で2、3個持って帰った奥様もいるとかいないとか。(笑)

リサイクルかいろうが
大人気!?



写真＝試合の振り返りの様子